

THE ROTARY CLUB OF CHOSHI

銚子ロータリークラブ会報

国際ロータリー第2790地区

創立 昭和32年3月23日

RI承認 昭和32年4月15日

会長 大里 忠 弘

副会長 宮内 榮

幹事 金島 弘

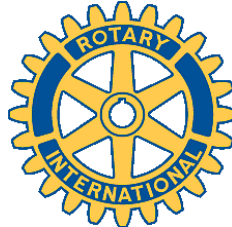
会計 金子 芳 則

2012～2013年度 RIテーマ

奉仕を通じて平和を

Peace Through Service

2012～2013 RI会長 田 中 作 次



例会日時 毎週水曜 12:30～

例会場 銚子商工会館5F大会議室

事務所 銚子市三軒町19-4

銚子商工会館内

電話 0479-25-3111(会館)

0479-23-0750(専用)

ファクス 0479-25-8789

e-mail rotary@choshinet.or.jp

URL <http://www.tcs-net.ne.jp/~rcr>

第2754号 (2013年4月17日発行)

今週のプログラム

『希望の風プロジェクトについて』

織田 吉 郎 会 員

前回の例会報告 (4月10日)

点鐘：大里 忠 弘 会長

ロータリーソング：我等の生業

会長挨拶

先週5日には春の交通安全運動出発式がおこなわれ、大岩会員、杉山会員、植田会員、金島幹事が参加されています。お疲れさまでした。この時期は新入学児童や生徒が活発に道路上に出てくる季節です。いっそう安全には気をつけ自動車の運転などお願いします。

春はそこかしこで新人、新入という言葉がよく聞かれる季節です。皆、これから何をしようか、どんなことが待っているのか希望に胸を膨らましているのではないのでしょうか。私などは勝手にそんなことを考えたり、気候も暖かく過ごし易くなり、それだけで何かウキウキした気分になってきます。

先の日曜日、今年で10回目を迎える千葉科学大学の入学式に出席してきました。薬学、危機管理

学部始まり大学院、留学生別科まで総勢430名が入学を許可されたそうです。赤木学長、加計理事長が述べられていたように自分たちが、世のため人のために何ができるか考え、実行できるように育ててください。と同時にこの自然にあふれ、のびのびした銚子で青春を謳歌して行ってください。銚子が学生生活の良き思いでの地になるよう願います。

入学式のときも快晴ではありましたが風が大変強く、まさに風の町銚子によるこそという感じでした。先週の例会時の暴風雨、土曜から日曜日にかけての暴風雨、そしてまだ記憶に新しい北海道での山や海ではなく極日常の街中でも死者が出てしまうという厳しい天候。冬から春への季節の変わり目に低気圧が日本海で台風並みに発達しその低気圧に向かって吹く強い南風やかみなりを伴った強い雨風が起こる現象、によるところではありますが、今年は特に気候変化の激しさを感じます。三寒四温や春の嵐という言葉は以前からありましたが、最近では爆弾低気圧やPM2.5なる言



第2790地区

ガバナー 得 居 仁 (松戸東RC)

会報委員

大岩将道、坂本尚史、越川信一

葉が聴かれるようになりました。もう桜も散ってしまいましたが、早く穏やかな春爛漫の日々を迎えたいと思います。

会員の記念日

◇ 結婚記念日おめでとうございます。

加瀬 貞治 会員 (4月10日)

◇ 入会記念日おめでとうございます。

桜井 広和 会員 (4月5日)

幹事報告

1. 週報拝受 ……成田空港南RC、館山RC
2. ロータリー・クラブの平和活動をご紹介下さい
……ガバナー事務所
3. リスボン国際大会地区ナイト開催日時及び場所の御案内
……ガバナー事務所
4. 第24回RA関東ブロック研修会登録の御案内
……ガバナー事務所
5. 第7分区親睦ゴルフコンペの御案内
……第7分区ガバナー補佐栗田壮一様
千葉科学大学RAC 4月15日例会、点鐘17時

お客様



◇ 米山奨学生 金 ユリ 様
先月一週間韓国に帰国しました。また、先般はRCメンバーが会食に誘ってくださり楽しく過ごしました。ありがとうございました。

会員スピーチ



◇ 信太 秀紀 会員
「共感力」の大切さと効用についてお話いただきました。

委員会報告

◇ 親睦活動委員会 (石毛 充委員長)

4月21日の家族親睦旅行の出発時刻は6:55市役所です。横浜の観光では女性による案内がありますのでご期待下さい。

ニコニコボックスの投稿が少ないようです。是非何か嬉しいことがありましたら、よろしくお願いします。

ニコニコ

◇ 高瀬 幸雄 会員

IMに参加しての卓話をします。聞いてください。

◇ 石毛 充 会員

今朝、双子の孫の女の子がピカピカの一年生として小学校に入学しました。登校する後ろ姿を見てますと、目頭が熱くなりました。

◇ 丸山 泰典 会員

昨日、長女が高校へ入学致しました。大学に行けるように陰ながらサポートするつもりです。

◇ 田中英子 会員

昨日、長男が高校へ入学致しました。これから3年間、毎日お弁当作りがんばります。

◇ 内田 修心 会員・坂本 尚史 会員

4月7日、千葉科学大学の入学式があり、学部生395名入学しました。今年度は看護学部の学生も募集しますので皆様方のご協力よろしくお願い致します。

<卓話>

<< IMに参加して >>

高瀬 幸雄 会員

2月17日(日)八日市場ロータリークラブがホストのIMに参加させていただきました。当ロータリークラブの参加者は大里会長のもと総勢16名で、残念ながら参加人員で銚子東ロータリーの18名に負けました。

今回のテーマが「職業奉仕について語り合おう」でした。今回の基調講演はRI第2790地



区ガバナーエレクトの関口徳雄会員が「私のロータリー感」についてお話をされました。関口講師は銚子ロータリークラブの織田会員の見識と行動について褒めておられました。その意味で私は、銚子ロータリークラブに所属したことに優越感を感じましたが、逆に我が身の知識の無さが身につまされました。関口講師は浦安ロータリークラブ 30 年の経歴をお持ちの方で、1944 年生まれの今年で 69 歳を迎えられる方で、弁護士をされています。講演「私のロータリー感」の講演に際し、職業奉仕について触れておられました。それは、本当の職業奉仕とは何かとの問題に誰もがぶつかる問題と言っておられました。例えば、最初から無報酬で仕事をする事が職業奉仕か。又、クラブが主催した税務相談は職業奉仕に当たるのか等、全ての仕事に対して反省をしても、真の職業奉仕は見えてくるか、あるいは職業奉仕とはこうであると言い切れる物が見つかるかは、非常に難しい問題と言っておられました。しかし、最終的に言い切れることは、職業奉仕は不動の活動であり、北極星であると発言されていました。

私は今回、宮内龍雄会員から卓話の依頼を受けた時、職業奉仕について自分なりに勉強しようと考えました。丁度良い書物が猿田会員より戴いた「ロータリー哲学の理論と実践」国際ロータリー第 2790 地区 齊藤 博会員昭和 4 年 5 月生れで今年 98 歳の方です（市原 RC 入会眼科医）の著書があり、その中に不況に強いロータリーの哲学（職業奉仕について）が有りましたので、熟読してみようと思いつきました。

読む上でどのように読んでいけば良いかを考えたとき思いついたのが元、灘中学校の国語教諭で 1984 年（昭和 59 年退職）の橋本武先生の授業方法を参考に見ようと思いました。ご存知の方も多いと思いますが、中勘助の小説「銀の匙」を学校教育の国語に取り入れ、この小説を国語の時間に 3 年間かけて読み込む授業を展開したようです。この小説は中勘助の自らの幼い頃を描いた自伝小説です。明治 20 年代から 30 年代にかけて見た風景、感じた物事が大変美しい言葉でつづられており、夏目漱石も絶賛したようです。その授業方針は、読み込むことにより、そこに書かれている文章の理解と解釈を掘り下げたようです。生徒達の中には、この方式では 3 年間で消化でき

ないとの声に対し「すぐに役に立つことは、すぐに役立たなくなる」と云って説得し、読み込むことにより、テーマの真髄に近づき、問題をきちんと理解できるとし、それにより、学ぶ力の背骨を生徒が物語から学ぶようにとの思いで教鞭をとったようです。この方法は、国語だけの問題ではなく、他の教科にも及び、生活態度の活性化にも繋がると信じて指導に当たったと言われてい

ます。そんなことから、自分なりの職業奉仕を考える良い機会になれば幸いと思いチャレンジしてみました。勿論、この著書が職業奉仕の北極星になるかどうかは私にはわかりませんが、私は良い著書と思っています。そこで手始めに、関口講師が北極星も厳密には不動では有りませんと言っていましたので北極星とは何かから調べを始めて見ました。北極星は、天の北極に最も近い輝星を意味するとあります。地球は、太陽の回りを自転しながら公転しています。その速度は、自転が約 1,674Km/時間で、公転は 30Km/秒で有るようです。それでは何故北極星が変わるかと言いますと、地球は歳差運動を行っており（歳差運動とはコマを回したときの首振り運動を指し）一回転するのに 25,920 年かかるようです。地球が首を振ることにより、北の方向が変化します。その事から今後北極星は次の通りになるようです。西暦 2100 年（現在）ポラリス（こぐま座 α 星）、2000 年後の西暦 4100 年にはエライ（ケフェウス座 γ 星）、1800 年後の西暦 5900 年にはアルフィクス（ケフェウス座 β 星）、1700 年後の西暦 7600 年にはアルデラミン（ケフェウス座 α 星）、さらに 2600 年後の西暦 10200 年にはデネブ（はくちょう座 α 星）に変わっていくようです。

そして、橋本先生の授業方法を参考にこの著書を読みました。その著書の職業奉仕で先ず、著者の齊藤会員は職業奉仕とは方向が全く違う言葉を一緒にしている点を理解することが大切と言っています。職業は英語で (occupation) と云い、職業とは現象と云っています。そこで現象について辞書で調べてみますと、現象とは人間が知覚できる全てのものごと（人間界や自然界に形として現れるもの）と有りました。著者は本の中では現象を、具体的に企業の社長、医者、八百屋等千差万別を指すと言っています。そして、奉仕は英語で (vocational service) と云うのは本質を考える概念と云っています。本質とは、あるものがそのものであると言いうるために最低限持たなければいけない性質とあり、概念とは一般的なものを考える時に心の中に生ずるものを「概念」とよび、これが判断の基本要素となる。とあ

りました。著者はこのことから、日本語に適訳を示す慣用語が無いので「職業的・社会生活における奉仕の実践」と考えれば理解が容易と言っていますが、私なりの理解しやすい言葉では「職業の中にあつてその共同生活において奉仕を実践する」が私の頭に入り安い言葉ですが、真実かどうかは判りませんし、これとて難しい言葉です。

そこで、著者は具体的事例として次の文章を掲げています。高橋会員がお話しされたシェルドンの話です。こんな文章で紹介されています。シェルドンが20世紀の初頭シカゴの醜い商業上の競争を見ることにより、売ることだけに力を注ぎ、誇大広告や詐欺的取引が横行していた時、少数の商人は絶えず顧客の立場を尊重することに専念し、そのことによって長い間に確実な固定客の厚い層の保護を受けていた事実から、ロータリー活動の真髄として奉仕の概念を掴んだと言われています。職業奉仕の実践では①～④項目に分類しそれぞれ事例紹介をしています。先ず、職業奉仕の実践の①として取引関係の事例紹介をしています。②は同業者の関係を説明し、③は下請け関係を、④は企業内管理関係をそれぞれ具体的な事柄でつづられています。この中にあつて第一が経理の公開、第二が公租公課、第三が適正賃金論、第四が利益の適正配分、第五が従業員の自主管理権の確立、第六が人を育てる経営者になれ、第七がhuman relation（人間関係）、第八が企業主のリーダーシップと八項目について具体的内容が書かれています。私は第六の言葉が印象に残りました。それは、国際ロータリー第63代会長のウイリアム R. ロビンズ氏が「ロータリーの精神を奮い起こせ」のテーマを掲げた時、アメリカの思想家であり詩人のエマーソン（Ralph Waldo Emerson）の言葉を引用しエマーソン曰く「文明の価値は何によって計られる。都市の大きさに非ず。都市の収入の多さに非ず。その都市が、如何なる人物を作ったかによって、その都市の文明が計られる。しからば人間の組織で、人作りに役立たない様なものは、何の価値もない。ロータリーも人作りに役立たない様なロータリーならば、何の価値があるか。会員増強も人作りを重点に、会員を増やせ」と言った言葉が印象的でした。

IMに参加し、私も少しは勉強しなければいけないと思立ったことが、今回の成果と自画自賛しています。皆様には当たり前のお話しをさせていただき、意味不明が多くあつたことと思いますが、継続は力とも言いますので、これからも職業奉仕の意味を深く理解することに努め、実践していきたいと思ひます。

【出席報告】

会員総数 42名 出席計算 41名
出席：37名 欠席4名 出席率 90.24%
欠席：有村君・石川君・越川君・松本君

【M U】

堀米君・杉山君・宮崎君（4/9 銚子東RC）

春の交通安全運動出発式（4/5）

金島君・大岩君・杉山君・植田君

【ニコニコ】

ニコニコBOX	¥ 18,000	計	¥ 434,930
スモールコイン	¥ 3,800	計	¥ 54,641
米山BOX	¥ -	計	¥ 49,924

編集後記

今年は、寒かった冬から一転して急に暖かくなったせいか、桜の開花が例年になく早まりました。4月3日の春の嵐で、我々が植樹した中央みどり公園の桜もすべて散ってしまい、写真が撮れませんでした。（MO）

校務のため2回続けて例会を欠席してしまい申し訳ありませんでした。ロータリーソング板から真新しいバナーに変わっていて驚きました。本日の例会では、私もIMの報告をさせていただきましたが、忙しかったことからすっかり忘れていて焦りました。IMはロータリーの手続き要覧にも記載されていない地区の会合ですが、研修と親睦を深める場として貴重なものだと思います。分区内クラブ数が少ないこともあつて、少しマンネリ化しているように感じられるのと、本クラブの出席者が年々やや少なくなっているが残念です。（TS）

次回のプログラム（4月24日）

『雑誌月間に因んで』

高橋宏資 会員

お弁当：大新（幕の内）